



# 福田ちえの市政だより

福田ちえ後援会事務所 〒320-0841 宇都宮市六道町 12-38

電話: 028(636)2582 FAX: 028(636)2559

<http://www.f-chie.jp/>

✉ [info@f-chie.jp](mailto:info@f-chie.jp)



## 9月定例会で質問!

今年は**国民体育大会**「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が栃木県で開催されることに伴い、宇都宮市議会9月定例会は、ちょっと早い8月24日に開会。私は、**8月30日(火)**に本会議で**一般質問**を行いました。

### 【質問項目】

#### 1. 選挙における投票について

- (1) 投票用紙誤交付とその防止策について
- (2) 期日前投票所における投票用紙同時交付の混乱防止策

#### 2. LRT事業と交通政策について

- (1) ファーストワンマイル交通について
- (2) バス路線の再編と地域内交通について
- (3) 公共交通とクロスセクター・ベネフィットについて

#### 3. 保健福祉行政について

- (1) 初期救急医療機関（夜間休日救急診療所）の果たす役割について
- (2) 宇都宮准看護高等専修学校について
- (3) 宇都宮市医療保健事業団健診センターにおける社会的処方視点を加えた特定保健指導について

#### 4. 地域共生社会の基盤づくりについて

- ・認知症施策推進大綱に基づく地域共生社会の基盤づくり

#### 5. 子どもの居場所づくりと地域福祉について

#### 6. 教育行政について

- ・自分達の決めた政策を実現する少年議会の導入について
- ・不登校が減らない原因とその対応について
- ・学校の決まり（校則）への児童生徒の意見反映について
- ・今後の学校プールのあり方について



〔写真〕

4年8月30日(火)  
国体応援ポロシャツを  
着用し、議会質問する。

議会質問の録画映像→  
宇都宮市議会ホーム  
ページより



### 〈9月定例会の日程〉

8/17(水)招集告示

議会運営委員会

議員協議会

8/23(火)議会運営委員会

8/24(水)本会議開会

広報公聴委員会

**8/30(火)一般質問★ちえ質問**

8/31(水)一般質問

9/1(木)一般質問

9/6(火)各常任委員会

9/7(水)各常任委員会

9/8(木)決算審査・企業会計審査

9/9(木)決算審査・企業会計審査

9/10~9/15 国体（会期前実施競技）

9/17~9/19 国体（会期前実施競技）

9/20(火)決算審査・企業会計審査

9/21(水)決算審査・企業会計審査

9/22(木)決算審査・企業会計審査

9/29(木)議会運営委員会

議員研修会

9/30(金)本会議閉会

# 令和4年9月定例会 福田智恵一般質問《質問・答弁要約》

## 1. 選挙における投票について

**Q** 投票用紙誤交付により、260人の意思が反映されない事件が起きた。再発防止策について伺う。

**A** マニュアルの再点検、電話による投票所への再点検などの対策を講じ、再発防止と信頼回復に努める。

**Q** 期日前投票所3箇所投票用紙が同時交付されており誤記載を招きかねない。どう解消を図るのか。

**A** 投票所の移設も視野に入れ、指定管理者や関係機関などと協議を行い、順次解消に取り組む。

## 2. LRT事業と交通政策について

**Q** ファーストワンマイル（自宅から公共交通までの）交通の確保について、どのように捉えているのか。

**A** 地域内交通が大きな役割を担うと考える。今後は、地域内交通の導入範囲の拡大を図るとともに、運賃負担軽減や、待ち時間の短縮が期待できる「予約・配車システム」の導入を進め利便性を高める。

**Q** バス路線の再編については、バス停の位置やバスの運行間隔、地域内交通とLRTやバスとの接続場所、駐輪場や駐車場に関する情報など、もっと具体的に内容を公表し理解と意識醸成を図るべき。

**A** バス路線再編の実施内容を決定する「地域公共交通利便増進実施計画」を年内に策定し、速やかに公表する。また、地域の公共交通がそのように便利になるのかを地区ごとに取りまとめたパンフレットを作成し、市内全世帯に配布する。バス運行ダイヤなどの詳細も決定次第速やかに周知を図っていく。

**Q** 公共交通の生み出す価値を医療などの他分野も考慮したクロスセクター・ベネフィットを算出して公共交通の真の価値を導く研究がある。本市も取入れ、他分野も考慮した整備効果を算出してはどうか。

**A** 令和2年度に、市内各地域の特徴や傾向を把握するため地域別データ分析を実施し、公共交通の利用状況と生活習慣健康度について分析し、公共交通と健康分野の相関関係を把握した。公共交通全体がもたらす、クロスセクター・ベネフィットの把握に努める。

## 3. 保健福祉行政について

**Q** 初期救急医療機関の市夜間休日救急診療所については、感染症患者と非感染症患者とが完全に接触しない形で診療・検査が受けられる体制を整え、コロナ疑いの患者さんを断らない体制を整えるべき。施設に問題があり、改善計画を示すべき。また、災害や感染症流行等の非常時について見解を伺う。

**A** 夜急診は軽度の患者に適切な医療を提供する役割を担っており、診察検査体制を整えてきた。市医療保険事業団や市医師会などと意見交換しながら、平時のみならず非常時においても、市民が安心して夜間休日救急診療所を利用できるよう取り組む。

**Q** 宇都宮准看護高等専修学校の定員割れが続いている。県南高等看護専門学院の閉校、上都賀郡市医師会附属准看護学校の閉校が決まっており全県的な医療従事者の確保の観点からも、宇都宮准看護高等専修学校の役割は大きい。財政支援も含めた更なる支援が必要と考えるが、見解を伺う。

**A** 全国の准看護学校数や学生数が減少傾向にある。これまでも学校運営にかかる経費を補助してきた。今後とも地域医療を担う看護職を要請する当学校の目的が達成できるよう、適切に支援する。

**Q** 市医療保健事業団健診センターにおける社会的処方の視点を加えた特定保健指導について見解を伺う。

**A** 市医師会と本市が連携することにより様々な健康課題の解決に繋がるものと認識する。今後とも、社会資源に関するデータや地域別データ分析結果の情報提供などを行い、必要な支援を行っていく。

## 4 地域共生社会の基盤づくりについて

**Q** 認知症施策推進大綱に基づく地域共生社会の基盤づくりにどのように取り組み、推進していくのか伺う。

**A** これまでに認知症サポーター延べ42,000人余を養成、この中から認知症パートナー78人を養成した。今後は地域の方に参加いただきながら身近な地域における認知症の方の見守り活動の充実などを通じ、地域の支え合いをより一層強化し、誰もが安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を進めていく。

## 5 子どもの居場所づくりと地域福祉について

**Q** 世代を問わず「つながり」が失われている昨今、子どもの居場所づくりは学生や地域の大人、高齢者、障がい者、つながりを求める誰もが集える居場所として、地域福祉の基盤を構築してはいかがか。

**A** 孤独・孤立の解消を図るためには、身近な地域において自分に合った居場所を選択できることやつながりの大切さを感じられることが重要である。多様な利用者のニーズの反映や世代を超えた参加者交流などの重要性を共有していただけるよう情報提供に努めるなど、地域共生社会の取り組みを推進する。

## 6 教育行政について

- ・ 予算と執行権のある少年議会の導入を提案→地域未来会議・宇都宮ジュニア未来会議を継続していく。
- ・ 不登校が減らない原因とその対応→学校復帰のみを目標とせず、多様な学びの場をより一層充実する。
- ・ 校則への児童生徒の意見反映→児童生徒が主体的に話し合う機会を定期的に設置することを推進する。
- ・ 今後の学校プールのあり方→情報収集に努め水泳の授業を効果的に実施するための検討を進めていく。